

あれから **1世紀!**

2023.9.1

1923.9.1
大正12年

いま 歴史からの教訓を!
保存・継承
そして 備えとして……

関東大震災

パニック……

新聞報道2か月半

……復興

- 右往左往 動揺 不安 火災 甚大被害 被災 混乱
- 号外連発 銀行預金支払停止 物価暴騰・下落
- 戒厳令 政府 官庁 政治 経済 労働 保険 企業
- 交通 鉄道 道路 土木 建築 家屋 水道 電気
- 世相 群集 心理 世相 家庭 庶民 学校 教育



迫力の
大紙面
100年前が
リアルに
眼前に!

全2巻

広げれば
A2判!

(大空社 1992年8月)

資料に命の心を
作品に心こもるを
形にして伝える。
学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

1923（大正12）年9月1日

関東大震災が起きた日から

2か月半後、戒厳令が撤廃された11月16日までの
全国の新聞（延べ37紙）・官報等を分類・整理し収録。

関東大震災がもたらした
社会の変動が
迫力の紙面から
手に取るように読み取れる
歴史の第一級資料

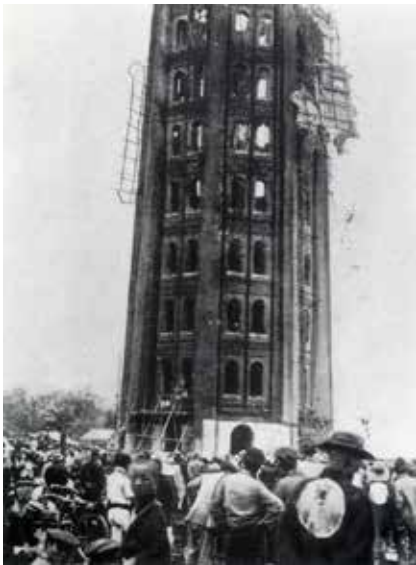
* 日に何度となく発行された号外は、混乱と動揺、まさにパニックの実態を赤裸々に伝える。

* 震災後に起きる様々な問題（衣食住、銀行預金の支払い停止、火災保険、商品価格の暴騰と下落、教育問題、復興資金、労働問題等）は、汲めども尽きぬ歴史的教訓を今日に示唆してくれる。

〈資料・解説〉

* 震災当時の新聞報道の実態をわかりやすく解説した「関東大震災と新聞」（新聞資料ライブラリー代表（刊行時）・羽島知之）掲載（上巻）。

* 本集成収録記事をベースとした「新聞に見る震災後の社会の主な動き」を掲載、「政治・経済」「生活・文化・世相・時事」「その他」の3ジャンルに分け、日を追って震災後の変化がわかるようにした（下巻）。



凌雲閣



上野大仏





上 激震・関東大震災の日

大震災に関連する『官報』、公報の『震災彙報』、全国の主な新聞社が頒布した『号外』『附録』『帝国大学新聞号外』、大正12年9月1日から5日までの全国の主な新聞社の朝刊・夕刊、及び震災の被害を受けた主な中央紙の復興後の記事を収録。パニックの実態速報。

【上巻 収録紙】

〔官報〕

官報号外 9/2~5

官報 9/4

官報公告 9/5

〔震災彙報〕

震災彙報 9/4~10/23

〔号外〕

大阪毎日新聞号外 9/1~16

小樽新聞号外 9/2~10

大阪朝日新聞号外 9/2~9

九州日報号外 9/2~9

福岡日日新聞号外 9/2~16

下越新報附録 9/3

新愛知号外 9/3.4

大阪毎日新聞名古屋附録号外 9/3~7

京都日出新聞附録 9/3.5

大阪毎日新聞山陽号外 9/3

大阪毎日新聞福岡号外 9/3~6

京城日報号外 9/3.4

名古屋新聞号外 9/4.6

名古屋毎日新聞号外 9/4.6

軍港新聞号外 9/4

東京日日新聞号外 9/5

大阪朝日新聞附録 9/5~9

国民新聞号外 9/7~10

読売新聞号外 9/7~10

北海タイムス号外 9/8

大阪毎日新聞附録西部毎日号外 9/8~20

東京朝日新聞号外 9/10.11

荘内新報号外 1~23 報

鶴岡日報号外 1点 (日付号数無)

帝国大学新聞号外 9/30.10/14

関東大震災

シリーズその日の新聞

新聞資料ライブラリー監修

全2巻

(大空社 1992年8月刊)

残部
数組

(2023.6)



下 戒厳令撤廃までの76日

関東地区の新聞社の中で、震災による被害が比較的少なかった『報知新聞』『東京日日新聞』の大正12年9月5日から、戒厳令が撤廃された11月16日までの記事を収録。震災後に起きる様々な問題が報じられている。

【下巻 収録紙】

報知新聞 9/5~30

東京日日新聞 9/6~11/16

〔全国主要新聞：9/1 夕刊～9/5 夕刊〕

大阪時事新報 9/1 夕刊～5 夕刊

大阪毎日新聞 9/1 夕刊～5 夕刊

小樽新聞 9/2~5

京都日出新聞 9/2~5 夕刊

大阪朝日新聞 9/2 夕刊～5 夕刊

静岡民友新聞 9/3~5

大阪毎日新聞京都滋賀附録 9/3.4

大阪新日報 9/3 夕刊.4 夕刊

駿遠日報 9/4

新愛知 9/4

日本織物新聞 9/4.5

大阪毎日新聞東京新聞代用 9/4 夕刊

信濃毎日新聞 9/5.5 夕刊

静岡国民新聞 9/5

大阪今日新聞 9/5

〔被害を受けた中央紙の復興後の新聞〕

都新聞 9/8

万朝報 9/11

時事新報 9/12

東京朝日新聞 9/12

読売新聞 9/12

国民新聞 9/14

中外商業新報 9/15

二六新報 9/25

いまだから
すべての人に
手にしてほしい

図書館必備図書

【大朝日新聞号外（第三） 大正十二年九月四日】



さながら当日の新聞を手取るような
迫真の紙面が展開

大朝日新聞 號外 第二

【大朝日新聞臨時號外 第二】 大正十三年九月三日

大朝日新聞臨時號外 第二

高田師團に動員令
温度百五十度に及ぶ
戒嚴令を嚴重
非常徴發令
横濱市は無警察状態
建築材料運送命令

發行所 大朝日新聞通信部
取賣所 東京 丸の内三丁目
大阪 東區本町二丁目
名古屋 中區大須
京都 下京區下町
神戶 三宮
仙台 青葉區
盛岡 山手
青森 中央
函館 本町
旭川 本町
札幌 本町

九州日報 號外

昨日午後の東京市
偵察飛行で判明
東京も尚延焼中

小石川半島四谷の一部を
及ぼす外全部風煙に覆はれる

千五百石

全通信省
通信省
全通信省

昨日午後一時
親任式舉行

横濱市は
宮城の各御門被害



沼津強震
累々たる惨死體
山北群の惨況

沼津行きの
最初の列

義金

沼津では
人家は空

長野県下各地被害

↑日に何度となく「号外」を発行

←「震災義金」全国から続々と

関東大震災 上

激震・関東大震災の日

生々しい
現実！ 実態！

11 昭和12年 大正12年9月10日夕刊

番安のいば一紙貼合の母の第皇子親、明不死生
を生一に死九てん込げ速に堂宮親の草浅
容取一院病を者病傷た得



夕報新聞

一部賣
定價二支

大震災後の帝都に最初の新聞

この天譴を前に
大東京を再造着手
速復の救済策に入



大震災の被害状況に関する記事と地図の解説。地図には被災地域が示されており、被害の規模が視覚的に把握できる。

東大震災救済会
東大震災救済会の活動に関する記事。救済活動の進捗や寄付の呼びかけなどが掲載されている。

聯合警隊活動
救済費に充當
救済施設
支拂ふのが当然
二井銀行
支拂開始

動物悉く銃殺
動物悉く銃殺に関する記事。震災後の衛生対策として動物の処分が行われたことについて報じている。

善後措置一窮
善後措置一窮に関する記事。震災後の復旧と救済が困難な状況にあることを指摘している。

井上華之助氏入閣
井上華之助氏入閣に関する記事。震災後の政治情勢や閣内閣外の変動について報じている。

早稲田大學焼失
早稲田大學焼失に関する記事。震災で早稲田大学が焼失したことを報じている。

註内新報外
東京震災情報
東京震災情報に関する記事。震災の最新情報や被害状況について詳しく報じている。

註内新報外
両大如御喪去
不逞鮮人益々擴大
大學病院に延焼
不逞鮮人益々擴大に関する記事。震災後の社会情勢や治安悪化について報じている。



被災地の様子や復旧作業に関する記事。写真と合わせて被災地の惨状と復興への取り組みを伝えている。

2023.9.1

未曾有の災厄から100年

迫力・迫真の大紙面で
記憶を鮮明に留める！

関東大震災

全2巻

1923.9.1
大正12年



上 激震・関東大震災の日
下 戒厳令撤廃までの76日

■ A3判 (297×420^{mm}) 横長・各巻約400頁
上製角背・カバー装

定価38,446円(本体 34,951円+税10%)

(大空社 1992年8月刊)

残部
数組

(2023.6)

学術資料出版
大空社出版

東京都北区中十条 4-3-2
(〒114-0032)
TEL:03-5963-4451
FAX:03-5963-4461
eigy@ozorasha.co.jp

お取扱い